

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 酒井 善広

- I 開催年月日 令和 3 年 12 月 20 日（月）
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 48 分
- III 出席委員等 〔出席委員〕◎酒井 善広 ○石須 大雄 山上 尊士
梅島 清香 嶋川 武秀 藪中 一夫
金森 一郎 大井 正樹 狩野 安郎
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 坂林 永喜
〔副議長〕 本田 利麻
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 熊木 義城 出町 譲
〔事務局職員〕 西本 幸夫 池守 凡子 堀田 寛之
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 123 号 令和 3 年度高岡市一般会計補正予算（第 8 号）のうち本委員会所管分
- 議案第 125 号 令和 3 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 126 号 令和 3 年度高岡市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 127 号 令和 3 年度高岡市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 129 号 高岡市手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第 133 号 指定管理者の指定について（高岡市農業センター）
- 議案第 134 号 指定管理者の指定について（高岡市職業訓練センター）
- 議案第 135 号 指定管理者の指定について（高岡市勤労者余暇活用センター）
- 議案第 136 号 指定管理者の指定について（高岡おとぎの森公園）
- 議案第 137 号 指定管理者の指定について（高岡古城公園（動物園を除く。））
- 議案第 138 号 指定管理者の指定について（高岡古城公園（動物園））

及び

- 議案第 139 号 指定管理者の指定について（ウイング・ウイング高岡広場）

以上、議案第 123 号のうち本委員会所管分、議案第 125 号から議案第 127 号まで、議案第 129 号及び議案第 133 号から 139 号までの計 12 件は、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 127 号について】

- ポンプ場建設事業として、8 千万円計上されているが、どこのポンプ場か。
- △ 二上地区の大井雨水ポンプ場である。令和 4 年度に国庫補助事業として行うことを予定している。

2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 令和 3 年度「高岡市未来につなぐチャレンジ事業補助金」及び「高岡市チャレンジ新商品」の採択結果について
- (2) 第 4 期高岡市中心市街地活性化基本計画（案）の概要について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【令和 3 年度「高岡市未来につなぐチャレンジ事業補助金」及び「高岡市チャレンジ新商品」の採択結果について】

- 全体で 52 件の申請があったとのことだが、どのような周知を行ったのか。
- △ 市ホームページや市広報紙での周知に加え、市のメールマガジンに登録している事業者や市内金融機関に対して周知を行った。
- 一生懸命に取り組んでいる企業が数多くあることから、それらの企業にも制度の内容が行き届くよう、より良い周知方法を考えてほしい。（要望）
- 新時代販路開拓事業支援補助金について、第 1 次で 14 件中 11 件が採択されたということであるが、採択されなかった 3 件は、第 2 次で採択されたのか。
- △ 採択されなかった 3 件については、市に申請いただいた後、県の補助金で採択されたケースもあったため、結果として申請件数が 14 件で採択件数が 11 件となった。
- 持続化人材育成支援補助金について、どの企業も人材育成に取り組んでいる中で、市の支援を受けて人材育成に取り組むということであれば、他の会社とは違うプラスアルファがあってしかるべきと考える。もちろん事業が終わった後にどのような成果が生まれたかを確認すると思うが、どのような点に着目しながら、この事業の取り組み成果を検討するのか。
- △ この補助金は、企業が社員のスキルを上げるための研修や、職業訓練等の実施に対して支援を行うものである。このような補助事業を実施することで、事業者からも感謝しているという声を聞いていることから、本制度を引き続き運用していき

い。

- 持続化人材育成支援補助金に関して、事業がある程度終わった後に、報告をいただくとと思うが、中身をしっかりと精査してほしい。（要望）

【第4期高岡市中心市街地活性化基本計画（案）の概要について】

- パブリックコメントは、ホームページ上から意見してもらうことになっているが、わかりづらく、意見がしにくいのではないかと感じる。該当ページを改善する計画はあるのか。
- △ 計画をデータ一つにまとめるとデータ容量が大きくなりすぎてしまうため、分けて表示していることが、逆に見づらいという指摘であると受け止めている。統一版なども含め、早急に見直しを図り、見やすいページになるよう努めたい。
- パブリックコメントについて、どれぐらいの意見を集めようとしているのか。
- △ 第3期の中心市街地活性化基本計画の時は、合計で15件の意見をいただいた。前回と同等かそれ以上を目指して、各種PRなどにも努めていきたいと考えている。
- パブリックコメントの件数が15件ということに対して、どのように捉えているのか。多くの市民の声を反映するという意味では、さらに多くの意見を集めるべきと考えるが、見解は。
- △ 他の事業や計画に対するパブリックコメントの件数と比較すると多いが、この数に満足することなく、しっかりと周知を行いたい。様々な視点からの意見をいただくことで、より良い計画となるよう、様々なPRを行っていききたい。多くの意見をいただくために、議員からも声掛けをしていただけるとありがたいと考えている。
- SNSでパブリックコメントを募集する際は、画像を添付するなど、わかりやすい発信をすべきと考えるが、見解は。
- △ 現在、フェイスブックやツイッターなどのSNSで案内をしているが、それらを見直した上で、よりわかりやすい表現となるよう努めたい。
- 金沢、富山に挟まれた都市環境や、北陸新幹線開通後の中心市街地周辺の空き家・空き店舗問題等を解消し、まちの空洞化を防ぐ観点などから、中心市街地活性化基本計画は策定されたと記憶している。これまでの流れを熟知している人もいれば、わかっていない人もいる。わかっていない人に対しては、コメントを募集していることをわかりやすくすることはもちろん必要であるが、これまでの内容がどのようなものであって、今回新たにどういうことを盛り込んだのかという部分も発信できれば良いのではないか。
- △ 中心市街地活性化計画の第1期、第2期は、北陸新幹線開業を見据えたハード事業が多く、それらを後押ししていくという意味でも、中心市街地活性化事業としてしっかりと位置づけた上で、取り組んできた。第3期では、そのハード事業で整備したものに対して、ソフト事業としてそれを活用していこうという動きになった。第4期についても、都市機能が中心市街地に集約するよう投資してきたことにより、マンションやホテル開発などを誘発したこともあって、この官から民への動きを活かして中心市街地の賑わいを生み出していこうという計画となっている。それらのことをしっかりと工夫し、伝えていきたい。

〔都市創造部〕

- (1) 令和 3 年度道路除雪実施計画書について
- (2) 地域除雪の実施について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 。 次回の常任委員会の開催について

2 月 10 日（木）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- 。 第 36 回日本海高岡なべ祭りについて

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（１８名）

産業振興部長	福 田 直 之	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	柳 原 隆	都市創造部次長	澤 徹
産業振興部参事（兼務）	竹 内 悟	都市創造部次長 参事	竹 内 悟
産業企画課長	長 井 剛 志	都市計画課長	日 名 田 尚 明
商業雇用課長	表 野 勝 之	景観みどり課長	松 本 武 司
観光交流課長	高 嶋 史 恵	道路整備課長	山 森 久 史
農業水産課長	須 田 稔 彦	土木維持課長	中 出 裕 嗣
農地林務課長	川 渕 利 直	建築政策課長	新 田 泰 弘
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
		上下水道局次長	嘉 信 和 昭
		総務課長	亀 岡 勝 彦